

簡 易 協 議 録

会議の名称	中宮北統廃合問題検討委員会との協議について
開催日時	平成 31 年 1 月 24 日（木） 10:00 から 12:00 まで
開催場所	輝きプラザきらら 3 階 総合教育部長室
出席者	<p><中宮北統廃合問題検討委員会> 2 名 <教育委員会> 畑中課長、松尾課長代理、田中係長、廣瀬主任</p>
内容	<p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの統合と、学校の統合は分けて取り組む。 ・青写真を示す。 ・保護者への取り組み手法は、再度確認する。 <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 年前ごろ、住民集会を行い、住民投票を行ったら反対多数であった。 ・検討委員会と教育委員会が、青写真について覚書みたいなものを結べればよいと考えている。 ・その青写真をもって検討委員会内で賛否を問いたいと考えている。 ・検討委員会内で賛成がとれば、住民説明を行おうと考えている。その際、教育委員会はオブザーバーとして参加していただければどうか。 ・保護者との個別面談は、説得と捉えられる可能性がある。 ・よって、保護者に対して、個別面談を行うのは火を噴く可能性があるので反対である。 ・個別面談ではなく、アンケートを行ってはどうか。 <p style="text-align: right;">裏面へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合自体に対して、反対者は少ないのではないかと思うが、教育委員会のプロ

セスに納得いかない保護者が多い。

・通学距離や人数など、合理性の説明はわかっているので、それを押し付けられても困る。教育委員会のやり方に対しての感情論である。

・保護者は、なぜ高陵小に行かないといけないのか、感情的になっている。

・合理的な説明、理由だけでは説得できない。

・こちらの答えてほしいこととはずれている。そのため、保護者は、教育委員会を冷たいと感じている。

・ハード面の整備は予想できるので、ソフト面の整備を聞きたい。教育論を聞きたい。

・行政が統合すると言っているのだから、覆ることはないと思っている。

・どんな学校になるのか。プラスになるようなことを示してほしい。

・どうやって高陵小に決めたのかというプロセスや、統合の意義が表にできるような丁寧な説明がいる。

・保護者は、行政のやり方や、姿勢に対して批判している

・相談窓口を設置するのは良いと思う。

・オープンな形で取り組んでほしい。